

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	<p>2016年2月上旬から2月下旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2015年11月上旬から11月下旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。なお、政府の景気認識については月例経済報告の中でお示ししているのでご参照ください。</p>	悪くなっている	<p>財務省「貿易統計」からは貿易収支の改善がみられるが、それは「輸出拡大」ではなく、「輸出縮小を上回る輸入縮小」で実現しており、原油安の恩恵は受けるが、外需は縮小している姿が浮かび上がる。国内生産の停滞は、経産省「鉱工業生産指数」で生産は下落、在庫は上昇基調にあることから分かる。これに、要因としての内需(とりわけ個人消費)の弱さが付け加わる。総務省「家計調査報告」によれば、消費支出は低下傾向にあり、その背後には実収入の減少がある。賃金が上昇しなければ、消費も増加しようがない。問題は、なぜ企業が円安・原油安で増大した収益を原資に、賃金の上昇で労働者に報いようとしていないかだ。あるいはなぜ、国内で積極的に投資を行い、生産、そして輸出を増やそうとしないかだ。国内市場に関する悲観的な見通し、投資機会の枯渇、経営者の展望喪失、結果として生じている人的資源の浪費、について分析を深めるべきだ。</p>
2016年前半に取り組むべき課題			
2	<p>2016年前半において、記載した3つの課題に関し、特に強化・加速すべきとお考えになる取組について、具体的な推進方法や手法がありましたらご紹介下さい。</p> <p>また、これら3つには含まれないが、同様に重要だとお考えの課題がございましたら、その推進方法とあわせて具体的にご記載下さい。</p>	-	<p>経済が価値を生み出す源泉が、急速に変化しつつあることを踏まえた経済政策が必要だ。つまり、有形資産ではなく無形資産の重要性の高まりである。無形資産をどのようにして生み出し、価値化し、その価値を引き上げるかに焦点を当てない政策は、ほとんど意味を失う時代になっている。これらはまだ経済統計で十分に捉えられておらず、故に過度に軽視される傾向がある。実業界、政府ともに、いまだに経済の物質的側面にのみ目を奪われ、その非物質的側面が生み出す大きな価値を十分に認識できていないようである。「知識資本」は、新しい価値を生み出す重要な源泉の1つだが、そのすべてではない。「人的資本」およびその関係性である「社会関係資本」が生み出す無形性を帯びた価値を分析し、これらの資本に対してどのような投資をすべきか(あるいは政府からみれば促すべきか)、考察すべきであろう。経済財政諮問会議資料「『成長と分配の好循環』に向けて」で示されている「人材投資拡大」の方向性は、こうした方向への第1歩として評価できる。もう1点、重要なのは、「無目的な成長」から「質の高い成長」への移行である。その点で、同じ資料の「ESG投資」の強調は望ましい。特に、昨年12月のCOP21で締結された「パリ協定」以降、世界的に再び低炭素投資の機運が高まり、それが成長戦略と結びついてくることに注目を怠らず、我々として何をすべきか検討を深める必要がある。</p>